

令和7年度(公財)教科書研究センター 大学院生の教科書研究論文助成事業 募集要項

当センターでは教科書等の質的向上と充実を図るため、我が国におけるこれらの改善に関する調査研究の推進と教科書研究の育成を目的とし、大学院生による研究論文作成に助成金を交付しています。

令和7年度の助成対象となる論文を以下のとおり募集します。

1. 助成対象となる論文

本助成事業は、大学院生による初等中等教育の教科書及びこれに関連する教材に係る研究についての論文を対象とします。論文は未発表のものに限ります。

なお、以下の点にご留意ください。

※特定の教科書発行者が発行する教科書の評価に結びつくものでないこと。

※応募申請書（様式1）の研究計画・方法を具体的にご記入ください。

評価基準は以下のとおりとなります。

- ・対象の研究が今日的な教育課題に対応しているか
- ・教科書をより良くすること、初等中等教育の教科書・教材に示唆を与えることが期待できるか
- ・研究の目的、意義は明確か
- ・優れた研究成果が期待できるか

2. 応募資格

国内に所在する日本の大学院の修士課程相当または博士課程相当の大学院生（応募申請時）、または大学院生で組織するグループで、所属大学院の指導教員の推薦を受けた者。

※所属大学院の指導教員による推薦書（日本語400字以内、様式2）が必要です。

※応募時に国内に居住している大学院の学生であれば、国籍等は問いません。

3. 論文の作成期間

交付決定から1年以内

令和7（2025）年11月～令和8（2026）年10月末

4. 応募方法

申請書（様式1）に研究課題、研究目的、研究計画・方法等を記載し、指導教員推薦書（様式2）、を電子メールでご提出ください。あわせて在学証明書（原本）を郵送してください。宛先は【問合せ・各書類提出先】まで。

※申請書（様式1）は2ページ以内に収まるように作成ください。

※応募は1人1件（または1グループで1件）とします。

※グループで応募する場合は代表者が申請することとします。申請書の「研究計画・方法」の欄にグループの構成と役割分担を記述し、共著であることを明確にしてください。

5. 応募締切り

応募締切り 令和7（2025）年7月31日（木）

6. 審査及び交付決定

当センターの書面審査及び総合審査を経て理事会で助成対象者を決定し、令和7年10月末に申請者に結果を通知します。併せてセンターのホームページに審査結果を掲載する予定です。

■研究助成選考員：（公財）教科書研究センター 調査研究企画委員兼任

※内容に応じて専門分野の研究者に依頼する場合がある。

7. 助成金額

1件につき10万円

※助成対象者決定後に助成金を交付します。（令和7年11月末予定）

助成金の交付が決定したら交付請求書（様式3）を郵送もしくは電子メールでご提出ください。

※優秀な研究論文には優秀賞を贈呈するとともに、発表の機会を設ける予定です。

※論文が提出されなかった場合には、助成金を返金していただきます。

※論文作成のために支出した経費の内訳、領収書等提出の必要はありません。

但し、パソコン等の汎用的な備品の購入には使わないでください。

※令和7年度の採択は10件程度です。

8. 助成対象者等の責任

（1）論文完成時に提出するもの

1）論文

助成対象者は、10,000～15,000字の論文及び400～500字の概要をまとめてください。

論文は全体（文章、図、表、写真含む）で10ページを目安としてください。図・表・写真挿入においてやむを得ない場合は12ページを上限とします。

※論文、概要は当センターのホームページに示す論文執筆要項及び論文フォーマットに従って作成してください。

※提出論文が12ページを超えた場合は、優秀賞の選考外となる場合があります。

※論文を修士論文または博士論文とする場合は、その旨を明記しておいてください。

2）英文の題目・概要等（様式4）

英文の題目・著者名・所属部局名・英文概要（250ワード程度）を添えてください。

3）指導教員評価書（様式5）

応募の際に推薦書を提出した指導教員による論文についての評価書（日本語400字以内）を論文と合わせて提出してください。

評価書は非公開ですが、論文概要および論文を公表する際には指導教員名を掲載させていただきます。

（2）提出方法

以下の方法で【問合せ・各書類提出先】へ提出してください。

1）論文 ① 印刷したものを郵送 ② Word形式のファイルを電子メールにて提出

- 2) 英文の題目・概要等（様式4） 電子メールによる提出
- 3) 指導教員評価書（様式5） 郵送もしくは電子メールによる提出

(3) 提出期限

提出期限 令和8（2026）年10月30日（金）

※論文が完成したら（1）の提出物を随時提出してください。

(4) 他の著作物の引用について

論文において他の著作物を引用した場合には、引用であることを明らかにし、脚注や注記等に出典を明記してください。写真・図表等の著作権、および個人情報保護に関しては論文作成者の責任で十分な配慮をお願いいたします。問題が生じた場合は論文作成者がその責任を負うこととします。

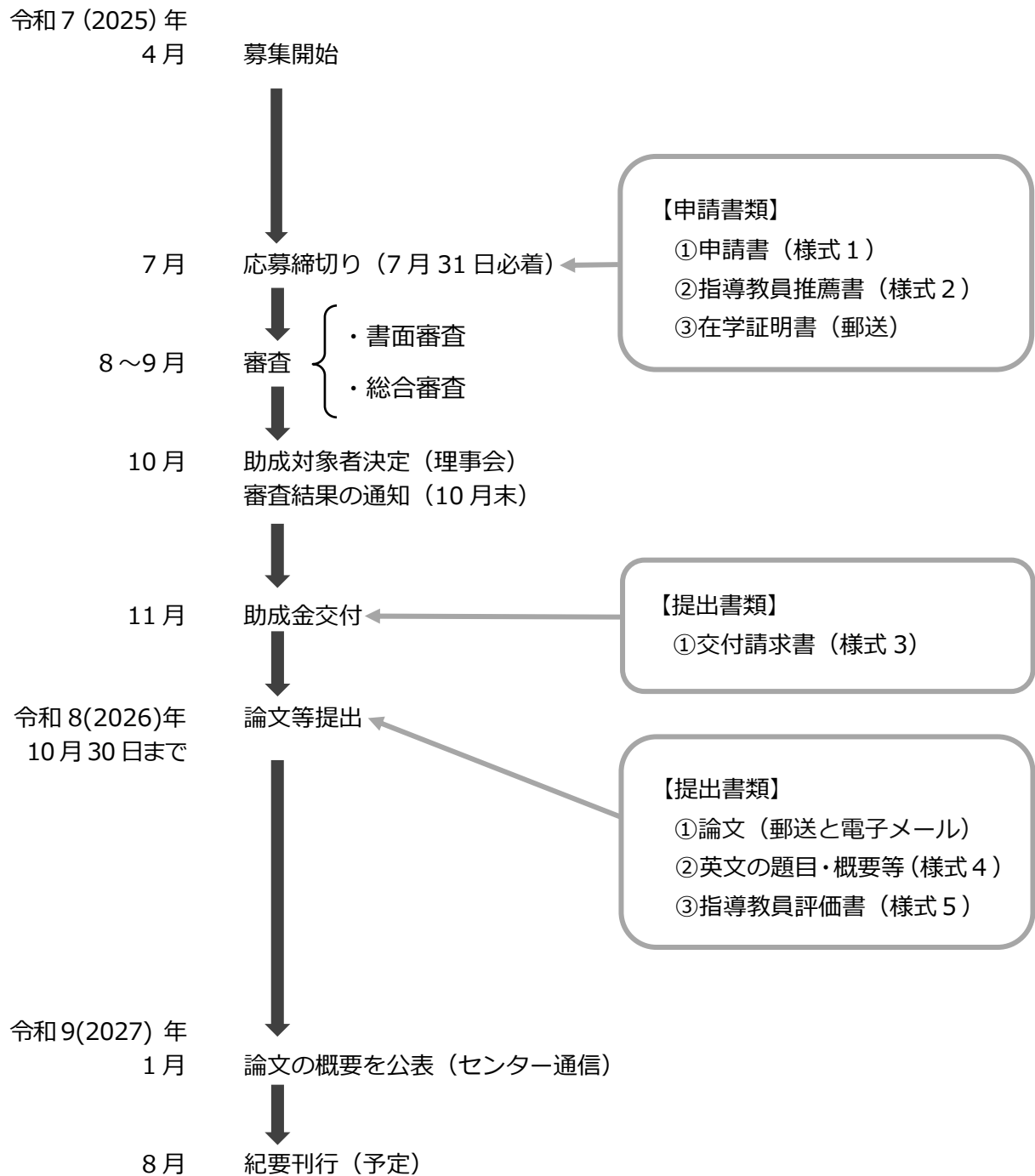
(5) 二重投稿、倫理違反について

論文の二重投稿、倫理違反については充分ご注意ください。著作物の引用と同じく、問題が生じた場合は論文作成者がその責任を負うこととします。

9. その他

- (1) 論文の概要は当センターの機関紙「センター通信」に掲載します。
- (2) 論文は教科書研究センター紀要（仮称）に原則として掲載させていただく予定ですが、学術論文の水準に達しないと判断された場合は、掲載しないこともあります。
※令和8年度から、「大学院生の教科書研究論文助成金 論文集」に代えて、「教科書研究センター紀要（仮称）」に掲載する予定です。
- (3) 論文の著作権は、論文作成者に帰属します。助成対象者が論文を提出したときは、当センターが営利を目的とせず、かつ学術及び教育の目的の範囲内で、論文（概要を含む）を紀要、機関紙「センター通信」、広報誌、当センターのホームページ等に掲載して公表・利用することについて、あらかじめ許諾したものとします。
なお、当センターが刊行する紀要、機関誌「センター通信」等の編集著作権は、当センターに帰属します。
論文を提出した後に、助成対象者が他団体の紀要、雑誌、ウェブ等に掲載し、公表・利用する場合には、「当該論文は公益財団法人教科書研究センターの助成を受けたもの」であることを明記してください。
- (4) 申請時及び論文提出時に必要な書類（様式1～5）は、センターのホームページの「教科書研究論文助成」から様式をダウンロードして作成ください。https://textbook-rc.or.jp/grants_jp/
- (5) 申請時にご記入いただいた個人情報は、本助成論文に係る業務のみに利用致します。その他の目的には利用されません。
- (6) 審査の結果、助成対象者となった場合、令和7年11月頃に助成対象者の方々に研究概要をご発表いただくスタートアップミーティングを実施します（オンライン開催予定）。
- (7) その他不明なことは事務局までお問合せください。

令和7年度募集開始から助成金交付までの流れ



【問合せ・各書類提出先】

公益財団法人教科書研究センター事務局

〒135-0015 東京都江東区千石 1-9-28

電話 03-5606-4311 FAX03-5606-3044

URL: <https://textbook-rc.or.jp>

josei_daigakuin@textbook-rc.or.jp

(問合せへの対応は日本語のみ)

教科書研究センター
「教科書研究論文助成」

